

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190200529		
法人名	社会福祉法人 唐津市社会福祉協議会		
事業所名	唐津市社会福祉協議会認知症対応型共同生活介護事業所きりご		
所在地	佐賀県唐津市肥前町切木乙548番地1		
自己評価作成日	平成30年12月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成31年1月24日	外部評価確定日	平成31年4月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

きりごの理念「笑顔あふれる楽しい我が家」と思えるように、利用者様が楽しみや安心感を持って生活できるような施設にしたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

肥前町の国道沿い、近所には住宅や商店がある地域に建つ認知症対応型共同生活介護事業所である。自然豊かで、近所には田畑が広がり、昔懐かしい風景は地域で生活されて来た高齢者には心安らぐ環境だと推測できる。近くに介護施設がなかった為、近隣住民より要望があり開設して3年9か月が経っている。地域とのつながりは小学校の行事見学や、小学生、地域住民の訪問等徐々に出来ている。しかし、管理者が1年ごとに変っている現状で、十分地域に溶け込むには至っていない。今後は施設職員が地区の清掃や行事等に参加し情報発信も検討される予定。

事務室は広く、暖かな落ち着いた雰囲気がある。事務室窓際の隣に畑や田んぼがあり職員から声かけされると立ち寄り談話されている。職員、利用者共に女性の為男性の手を借りたい力作業が必要な時は近所の方が快く協力してくれている。家族の面会も事務室にて行われゆっくり話が出来、喜ばれている。

毎食時職員、利用者全員で「笑顔あふれる楽しい我が家」を唱和され理念の共有を図られている。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる楽しい我が家」を毎食前必ず一緒に唱和し、職員も家族の一員となるよう、利用者様の笑顔が見れるように関わり合う事を大事にしながら毎日取り組んでいる。	利用者が家庭的な環境の中で、笑顔で過ごせる生活を支援することを理念とし、職員みんなで考えられた。1日3回毎食時利用者、職員と一緒に理念を唱和し常に理念を意識しながら支援にあたっている。管理者は職員や利用者の声かけや声の調子を聞きながら、理念の共有を図り実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時の声かけや、敬老会への参加、地元小学生の発表会への招待や訪問、地域の美容室利用など地域との交流はできていると思う。	地域住民の要望から開設された事業所なので、地域とのつながりや、協力関係は深い。しかし開設4年に満たない上管理者は1年ごと交代しており、十分地域に溶け込むには至っていない。今後は地域の清掃や行事等に参加し情報発信もする予定。近隣の高齢者が気軽に集える施設になるよう期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実践できていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	去年の公園利用料の免除の話を引継ぎ時に聞いていたので、免除申請をし、ぼたん公園に利用者様を連れて行った。また、運営推進会議時に献立表の掲示の提案があったので、ご家族様などに分かるように掲示している。	運営推進会議は地区駐在員、老人クラブ会長、民生委員、家族代表、行政職員等の参加で行われている。地域の役員が参加されている為地域の情報を得る事が出来、又施設からの情報も発信している。家族代表委員以外のご家族も情報共有できるよう玄関に掲示されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者と特別連絡は取ってはいないが、必要時には、報告及び連絡をしている。又、運営推進会議に委員として参加していたり、実情は理解していただいていると思う。	運営推進会議に行政担当者が参加されているため顔見知りの関係が出来、相談しやすい関係性が出てきている。介護支援専門員は地域包括センター職員との情報の共有を図り、行政との連携も出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	三ヶ月に一度身体拘束適正化検討委員会を開き、身体拘束に繋がらないように、ケアの見直しや職員の意識向上を高める為に話し合いを行なっている。	身体拘束委員会会議は全職員参加で行い、身体拘束についての内容を把握している。利用者の行動を抑制するのではなく、十分な見守りを行い利用者が自由に行動できる環境を整えている。身体拘束についてを含めて、利用者アンケートを取られた事があり、改善が必要な点は管理者が指導、助言している。職員は外部研修に参加し、研修後は職員勉強会時研修発表を行い全職員に周知している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年、研修計画の中に組み込み、今年も職員に受講してもらう事ができた。研修参加後は研修報告会を開き、職員全員に周知して、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等に参加するようにはしているが、今年も参加できていない。しかし、今回、成年後見制度の活用などを検討する機会があり、本所担当者などと連携をとり活用支援へと動き出している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書及び重要事項説明書の説明により、理解し納得していただけるよう努力している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設玄関前に「ご意見箱」を設置しているが投稿はない。面会時等に利用者様の状況やご家族様のお話を伺うようにしている。また、今年9月頃に利用者様及びそのご家族様を対象にアンケートを実施したので、意見や要望を反映できるように検討していきたい。	ご意見箱を設置しているが、これまで投稿はない。管理者、職員は利用者や家族とよく話すよう心掛け、意見が言いやすい雰囲気づくりに努めている。より良い生活支援の為に利用者、利用者家族にアンケートを実施、意見や要望を反映できるよう検討されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や管理者会議などで検討している。また、「勤務成績評定票」等にて職員の意見を反映している。	管理者は職員からの話をよく聞き、意見や要望等あればすぐ申し送り、連絡ノート等で共有を図っている。10月から新たな職員が2人勤務している。それまでの勤務経験からいろんなアイデアを持っており、意見が反映され新しい内容を取り入れ喜ばれている。代表者、管理者は「勤務成績評定票」により職員からの意見や要望を運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	今年度は産前産後休暇取得職員もおり、代わりの職員も入ってきて勤務体制的には余裕が出てきたので、今後は離職につながらないように働きやすい環境を作っていきたい。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	「勤務成績評定票」等に職員の力量等を把握し、また、研修計画に基づき全員に研修の機会を確保している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「グループホーム連絡会」にて、勉強会や交流会に参加するようにしている。また、今年も「小規模多機能型」のミニバレー大会に参加し他施設職員との交流ができた。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	「フェイスシート」及び「退院・退所情報記録書」の活用や入所判定会議の情報を全職員に周知し、ご本人様の不安を取り除き、可能な範囲で要望に応じられるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談及び入所申込時等にご家族様の困り事や要望等を聞いて、関係づくりを図っている。また、来所時等にもご家族との話を大事にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設として支援可能な事、支援困難な事を説明し、ご本人様及びご家族様の意向等も聞きながら支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設での共同生活の中で、ご本人様ができる家事等のお手伝いをして頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様とご家族様の関係を重視して、支援するように心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容室利用時の支援やご家族様、友人様の面会を通じて、良好な関係継続の支援を行なっているが、限られた利用者により偏り気味で不十分である。	利用者は地域の方が大半でこれまで利用されていた美容室を利用したり、近所の店に買い物に行っている。近隣の方が施設を訪問される事もあり交流が行われている。今後は全利用者の方の状態を見ながら個別に外出支援が出来るよう検討される。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は利用者様の意向を尊重しながら、居室やリビングで過ごして頂いている。又、職員が利用者様との間に入り、利用者様同士の関わりを支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時までの支援で終わっているのが現状である。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の利用者様一人一人の会話などから、思いや希望の把握に努めているが、把握困難な時などは、ご家族様の意向も参考にしている。	利用者一人一人の思いを把握し、希望に沿って支援するよう心がけられている。家族や知り合いの面会が利用者にとって大きな喜びとなる考えから、なるべく面会に来て頂けるよう働きかけ、面会時は一緒に写真を撮り居室に飾っている。買い物の時に本人が支払いを希望される方には自分で支払いが出来るよう家族と協力し小銭程度を管理させたり、希望に応じて支援されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「フェイスシート」等の入所時の情報や本人様との会話、面会時のご家族様からの情報により把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に利用者様の一人一人の心身状況を観察し、状態の変化等は申し送りなどで職員間で共有している。また、必要に応じて主治医に情報を伝え指示を受けている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング時は、本人様、職員との面談を行っている。また、必要に応じて主治医からの意見を受け、ご家族様に連絡、要望等の確認を行ない、介護計画書作成に取り組んでいる。	計画作成担当者は利用者、家族の意向を確認し管理者、職員と情報を共有し具体的な計画を作成している。評価は毎月行われ必要に応じ家族や、本人の意向を聞きながら、現状に即した計画作成がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当職員が毎月評価する「介護サービス計画書評価票」を確認して、介護計画書の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今後、できれば取り組んでいきたい。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後も運営推進会議の情報や意見を活用して支援していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診や緊急時対応など、協力医療機関へ電話相談を行ない連携を図っている。また、主治医の指示により他科受診が必要な場合には、紹介状を持参して適切な医療を受けられるように支援している。	入居契約時に十分説明を行い、家族と協議している。急変時対応の関係から事業所の協力医への主治医変更をお願いしているが、家族や本人の意向を大切にし、入居前からのかかりつけ医を継続受診される利用者には家族が付き添い、不可能な場合は受診の支援も行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤ではあるが看護職員を雇用しているので、介護職員と情報を共有し体調管理の支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には「入院時情報提供書」を提供し、担当看護職員及びソーシャルワーカーとの情報交換をおこなっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	必要時に応じて「急変時及び終末期における医療や介護に関する意思確認書」に基づいて説明をおこなっている。現在のところ、事業所としての終末期における指針ができていない為、今後指針の作成に取り組みたい。	入居契約時に医療に関して事業所で出来る事と出来ない事を利用者、家族に説明している。急変時及び終末期における医療や介護に関する「意思確認書」に基づいて説明が行われている。今後看護体制加算要件を満たすよう整備し、より一層医療、看護体制の充実に取り組むことを検討される予定。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練が定期的に行えていないため、今後は定期的に訓練を行いたい。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災に対する消防訓練は9月に実施し、3月には地域の方の協力を受けて訓練を実施しようと思っている。 しかし、地震や水害等については実施できていないので、火災だけではなく色々な状況を想定して行なっていきたい。	年2回の消火、避難訓練と1回の原子力防災訓練が実施されている。夜間の防災訓練は未実施、緊急連絡網による連絡訓練を検討されている。地区の消防団長が近所に住まれている為施設の見取り図を提出し、施設内の状況を把握して頂く予定。職員はAED、消火器の扱い方の訓練を受けている。災害に備えて飲料水の準備がなされているが、食料の備蓄は今後検討される予定。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	馴れ馴れしくならないように、相手を尊重する気持ちを忘れないように、言葉かけには十分気をつけている。	一人ひとりの人格を尊重し、利用者に対して親しみある声かけが行われている。プライバシー保護の観点から「個人情報使用同意書」の説明が行われ同意の上署名・捺印、プライバシーの保護がなされている。職員は先輩である利用者に対しての声かけに十分気を付け一人ひとりを尊重している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かを行なう時などは、利用者の思いを確認し希望や自己決定を尊重し支援できるように心がけてはいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴の時間については、ある程度の時間を優先しているが、その他利用者様のペースや希望にそって支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類交換時は利用者様の意向を優先して、選んでいただいている。必要に応じて職員が助言等を行なっています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	副菜については外注(昼食・夕食)で、施設職員が利用者様一人一人に応じた食事形態で提供している。朝食と日祝日については、施設職員が調理しているので、食べたい物を聞いたり、調理の下準備(野菜を切る)や、食事をつぎわけてもらったりして、利用者様に出来ることはして頂いている。	食事は基本、昼食夕食共に外注している為献立に利用者の希望を取り入れるのは難しい。朝食、日曜日、祝日は施設で食材を調達し調理を行っている為利用者からの要望や、職員の食材の購入にて柔軟に決められている。利用者との協力しながら調理される事もあり、家庭的な雰囲気ですべてをされている。安全に自力摂取される様、見守りを行い、必要な方には食事介助を行い安全に食事摂取が出来ている。おやつもバリエーションに富み食べる楽しみを支援されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外注により栄養バランス、摂取量ともに一人ひとりに応じた食事が提供できている。水分摂取については、声かけしながら十分に摂取できるよう心がけている。お茶だけではなく、他の飲み物を提供したりして、飲み残しのないように行なっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを利用者様の能力に応じて行なっています。また、入れ歯使用の方については、夕食後に入れ歯洗浄剤を活用している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ利用者様については、排泄パターンを把握し、定時間での声かけ誘導をおこない、トイレでの排泄ができるようにしている。	夜間紙おむつ使用者一人、日中は紙パンツ、布パンツ等本人の必要に応じて支援され、自立支援の為トイレにて排泄されている。排泄の訴えが出来ない人は定時で声かけしながらトイレで排泄介助を行っている。車いす利用の方で尿意頻回な方が排泄後5分ほどしてトイレ行こうとされるが移動時見守りを行い、その都度トイレ介助を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時にヨーグルトを提供したり、こまめな水分摂取の声かけや、飲み物の工夫などを行ない対応している。毎日の体操や定期的な散歩なども行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本としては、曜日や時間帯などを決めていますが、その時の利用者様の体調や気持ちに依るように対応している。	毎日午後に入浴の準備をしている。週に2回の入浴計画を立てているが、本人の希望に応じ曜日の変更や入浴回数を増やす等職員の体制を見ながら臨機応変に支援している。必要時は清拭、足浴なども行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人ひとりの状況や体調などに応じて支援を行なっている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的な往診や利用者様の状態を主治医に報告し、指示のもとに処方された処方薬を説明書にて、目的や用法、用量を再確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設の畑に野菜を作り、水やりを日課としたり、毎日の洗濯物干しやたたんでもらったりして役割をもっていただいたり、外で体操をしたりしながら気分転換を行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な外出支援は少ないが、天気の良い時には散歩に出かけたり、季節の花が咲いた時にはドライブにでかけたり、地域の発表会を見学したりした。	日常的な外出支援は出来ていないが近くのボタン公園や入野のコスモス畑の見学に行かれ楽しい時間を過ごされている。地域の小学校へ出かけ交流したり、プランターの花を持参して訪問があったり、みんなで写真を撮られ交流の機会がある。天気の良い日は近所に散策に行かれている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	2名の利用者様が、小額を所持され買い物や理美容代を支払ったりして、使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の要望により電話をかけたり、ご家族様からの電話取り次いだりしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は、利用者様はリビングの椅子やソファに座られて、ご自分のペースで休息したりテレビ鑑賞をしたりしながら過ごされている。季節感が分かるように壁に飾り付けをしたりして工夫している。	日中はホールで過ごされる事が多く、職員と交流したり、利用者様がベッドに休みたいと希望された場合は希望に応じ暫く午睡の時間を持たれ身体を休められている。車いすは移動の手段なので、なるべく移動の必要がない時はソファに移譲し安楽に過ごされている。施設内は毎日清掃され、ホールは加湿器の利用と新聞紙を丸めて水を張ったバケツに入れて加湿し、居心地よく生活できる様工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	決して広くはないが、狭い中に利用者様の一人ひとりの居場所がある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド及びチェストは施設で設置しているが、他のものについては使い慣れた私物を使用されている。ご家族の写真を貼ったりして、居心地よく過ごしていただけるようにしている。	居室には奥行きのある備え付けの広いクローゼットがあり、使用しない衣類や物品は片づけられ居室はすっきりと片付いている。小タンスが準備されており、普段使用する衣類を収納され、小タンスの上や壁にはご家族の写真が飾られ、居心地よく暮らされるよう支援されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今後は、安全で自立した生活が送れるように、安全環境整備を整えていきたい。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない